

埼玉県議会議員

わたなべ

渡辺 そいちろう

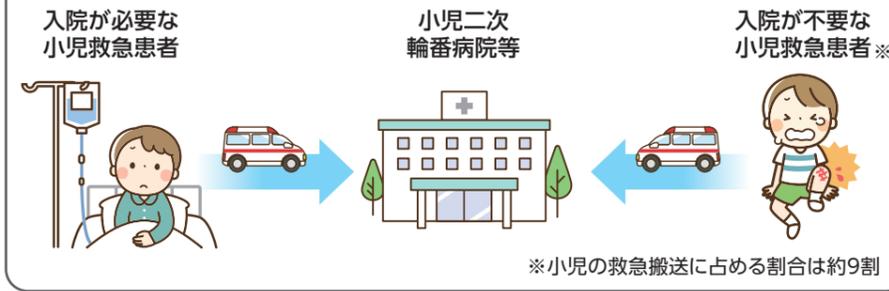
県政報告 Vol.8

政策実現

夜間小児救急の受け皿拡大が実現!

「夜、子どもが病気やけがをしたとき、受け入れてくれる病院がなく不安です」という声を頂きました。白岡市・宮代町は子どもの夜間や休日の受け入れ先が著しく少なく、体制が整っていません。長い間ずっと課題のままだった小児救急医療について**一昨年の県議会で問題提起**しました。その後、委員会等でも取り上げ続けた結果、令和7年度の**埼玉県予算の新規事業として、小児初期救急の拠点医療機関を整備する事業が決まりました**。これまでは二次輪番病院だけで受け入れ手一杯の状況でしたが、そこに新たに拠点医療機関が加わり、二重の体制で子どもの救急をケアする体制になります。政策が一步前進した事はとても嬉しく思っています。新たな県の施策がしっかり効果をだしていくよう取り組みを注視していきます。

現状



今後



新たに夜間救急の拠点病院を定めて、二重の体制で小児救急患者に対応する。



一昨年の10月議会で問題提起



選挙の時にも政策として訴えました

この政策がしっかり効果を出していくよう引き続き取り組みます!

新橋通り線の道路整備は

新橋通り線は、宮代町と杉戸町をつなぐ都市計画道路です。宮代町側では、大落古利根川を渡る橋を含む481メートル区間で、事業を進めています。用地測量と橋の予備設計は完了しており、用地買収率は24パーセント。現在は橋の詳細設計を進めています。また用地買収に向けた交渉も引き続き進めていく予定です。新橋通り線は杉戸町への重要なアクセス道路ですので、県に対してさらなる予算付けを求めています。



町と連携した事業

県は宮代町と連携しながら街づくりを進めています。進修館では駐車場の拡幅工事を行い、イベント時の活用や進修館の利便性向上を図ります。新しい村では農体験や買い物の場、料理教室となる各種施設の維持と強化を行います。またスマート農業技術の導入を進め、町内農業者へ横展開していきます。いずれの事業も県は2分の1の事業費を補助します。町民主体のまちづくりを町と連携して取り組んでいきます。



進修館



新しい村

八潮市の道路陥没事故

1月28日、八潮市の交差点において大規模な道路陥没事故が発生しました。被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。また下水道の使用自粛にご協力頂きありがとうございました。ご協力のおかげで、下水道管の下流からドローンを入れて運転手席を発見する事ができました。下水道管の中は硫化水素の濃度も濃く、潜水での救助が不可能と判断されたため、キャビン部分を上から掘削する土木的な搜索方法となりました。工事の完了までには約3か月を要する見込みで完全な復旧にはさらに多くの時間を要するとの事です。八潮市・県・国が全力で取り組んでいます。議会としてはまずは搜索復旧を支援するとともに、事故原因や事故対応について明らかにし、危機管理の改善を図っていきます。



◆事故の経緯

月日	主体	事案・対応	連携・調整
1月28日	0930八潮市県道で道路陥没・トラックが巻き込まれる		
	消防	人命救助活動開始も、二次災害に巻き込まれ、活動停止	県に概要が伝達される
	八潮市	ガス漏れにより住民に避難要請	県に連絡
1月29日	東京ガス	ガス停止	
	県	0500第一回危機対策本部会議(国交省、警察参加)、人命優先を指示	国に災害救助法適用を打診
		0800第二回危機対策本部会議	自衛隊に対応の可否を打診
		第三回危機対策本部会議	
		第四回危機対策本部会議	
		消防の指示によりがれき撤去開始	
1月30日	自衛隊	第32普通科連隊リエソン派遣	
	国交省	地盤改良開始	
2月5日	県	消防の指示により第一スロープ造成(2/1完成)	
	自衛隊	第1師団司令部施設課リエソン派遣	
2月6日	県・消防	超小型ドローン調査でキャビン発見	
	自衛隊	統合幕僚監部リエソン派遣	
2月7日	県	作業に伴う住民避難要請	住民は7日よりホテル等へ
		第二スロープ造成(2/7完成)	
2月9日	消防	消防の指示によりボックスカルバート撤去等	
2月11日	消防	作業現場レベルに立ち入り、陥没穴付近探索。救出方法を検討。	
	県	消防による救出方法検討を待たずしてキャビンに向けた掘削を決定 災害救助法1月29日に遡って適用決定	内閣府防災も同意



浮かびあがってきた問題点

- 問題点** 事故事案が消防内で完結される体制が継続され、災害対策本部立ち上げが遅れた
 - ↳ 県と市の対応では限界があり、早急に災害対策に移行し、もっと早期から国や自衛隊との連携による対策が必要だったのではないかと。
- 問題点** 過酷な状況下での救命・救出手段の欠如
 - ↳ 高度な危機や災害に対応できる実動部隊との連携が必要。
- 問題点** 5年に一度の検査では空洞を見つけられなかった
 - ↳ 今後は、より具体的かつ厳しい点検基準、管理方法が必要。
- 問題点** 事故場所は下水の最下流で口径も大きく水量も深く作業が困難
 - ↳ 今後は大規模な流域下水道のあり方も検討が必要。

八潮市の事故は県の初動対応が適切であったのか、老朽化した管の更新はどうするのかなど様々な観点から疑義があると思います。今なお搜索活動が続いていますので、その現場作業を妨げない事を最優先として、今後の委員会等で実態を明らかにしていきます。皆様に安心して頂けるように今後の危機管理やインフラ管理の改善を図っていきたくと考えています。

※この内容は2025年3月10日時点のものです。

活動日記



県庁にて政策や議案の調査

和戸踏切立体交差事業の説明会



警察本部に見学に来た地元の皆様とともに

障がい者就労支援ロボット「オリヒメ」を視察



朝の駅頭活動!

渡辺そういちろう プロフィール

1984年生まれ。明治大学大学院公共政策研究科卒。都内IT企業勤務を経て、衆議院議員の秘書を務める。2015年、2019年に白岡市議会議員に出馬し当選。白岡市議会では総務委員長や議会運営委員長などを歴任。2023年から白岡市・宮代町選出の埼玉県議会議員として活動を開始。埼玉県議会では自民党県議団に入団。企画財政委員会、危機管理・大規模災害対策特別委員会、予算特別委員会に所属。家族は妻と二歳の娘。

発行日: 2025年4月1日
 発行元: 埼玉県議会自由民主党県議団 渡辺そういちろう政務活動事務所
 連絡先: 〒349-0212 埼玉県新白岡4丁目8-4シオン102 TEL 0480-53-3623
 MAIL soichirowt21@gmail.com WEB <https://www.so-wat.net/>



X



Webサイト



Instagram